



2021年度より当乳腺外科は新しい取り組みとしてニュースレターを年2回発行していく予定です。『気軽に読める』をモットーに情報発信していければと思いますので楽しみに。



2020年度を振り返ると、

コロナウイルスに振り回され、いろいろな我慢を強いられた1年だったと答える人が大半ではないでしょうか。今まで当たり前前にできていたことができなくなり、今までできていなかったことが当たり前になってしまった。でも、どんな状況であつても時間は止まることはありません。

だからこそ、今一番ベストなことは何かを考え、やりたいことは後回しにせず、後悔のないよう時間を大切にしないといけない、と改めて痛感させられました。

 コロナウイルスの影響は乳腺領域にもありました。乳がん検診が一時ストップしてしまい、早期乳がんを見つけない状況になりました。また、腫瘍を自覚していても、コロナに感染するのを懸念し病院受診が遅れた方もいた、というのが現実です。

 コロナウイルスに遭遇してから1年以上が経過した今、私たちにできることは『感染対策をしっかり行う』に尽きると思います。上手にコロナと付き合いつながら、がんをはじめとする乳腺疾患全般とも安心して付き合っていける環境を整え、共に歩んでいければと思います。



初回かつ新年度ということでスタッフ紹介！！

- ①他己紹介 ②好きな言葉 ③趣味 ④今年目標



部長 小川佳成

- ①乳腺外科の大黒柱、たまにみせる笑顔がとっても素敵です！
- ②何とかなるさ
- ③山登り
- ④ダイビングのライセンスを取る



担当部長 池田克実

- ①どんなことでも相談しやすいお父さんのような上司です！
- ②人間万事塞翁が馬
- ③何かをあれこれ工夫して創造する事
- ④コロナ禍でも粛々と尽力す



①困ったときに適切なアドバイスをくれる三姉妹の長女！

②今日という一日を大切に後悔先に立たず

③旅行、音楽、ドラム

④英語力を鍛える



①やさしさとパワフルさを兼ね備える三姉妹の次女！

②I can do it if I do it (やろうと思えばできないことはない！)

③登山、消しゴムはんこ作り

④フルマラソンで完走する



①屈託のない笑顔が素敵な三姉妹の末っ子！

②衣食住

③散歩、スポーツ観戦

④健康に生きる！

今回のテーマは『ピンクリボン運動』を存じますか？

みなさんは『ピンクリボン運動』をご存じですか？

私は職業柄この言葉をよく知っており、関連グッズもいくつか持っています。ですが、どういった経緯でこの活動がはじまったのかまでは知らなかったため調べてみました。

ピンクリボン運動の始まりは、一九八〇年代にアメリカで娘が乳がんで失った母親がこのように悲劇を繰り返さないためにという思いを込めて孫にピンクリボンを渡したことからとされています。その後は乳がんの早期発見を啓発する目的で世界中にこの運動が広がっていきました。日本でも、二〇〇〇年頃よりさまざまなキャンペーンが行われており、毎年十月は『乳がん啓発月間』として日本各地の建造物がピンク色にライトアップされます。

現在、コロナ禍で検診率が低下し早期発見が難しい状況下ですが、今一度ご自身の体に向けてもらえればと思います。

乳腺外科医
がふと思ふこと